



市報

ぶら

2010(平成22)年
10.1

No.120

主な内容

- 市制施行5周年…2～5
- 市議会9月定例会…6～7
- ごみ処理施設ほか…8～9
- 行政情報便（市からのお知らせ）…10～13
- 地域の話・ニュース東西南北…14～15
- えがおの交差点…16～17
- 情報・いどばたプラザ…18～20
- 読者の声…22
- 巧（ぶどう生産者）…27



掛唄に込めた親子愛

9月14日の夜から15日の早朝にかけて行われた『金澤八幡宮伝統掛唄大会』で共演した妻野敏夫さん・聖花さん親子。地域や親子の絆(きずな)を宿した唄声が澄み切った秋の夜空に響き渡りました。(関連記事15ページ)

形民俗文化財



合併の翌年に行われた横手市誕生記念式典(平成18年4月23日)



新市誕生・開庁を祝い本庁南庁舎の銘板を序幕(平成17年10月1日)

写真でたどる5年間
横手市誕生から早や5年。その間のできごとを市報に掲載された写真で振り返ります。



新平鹿総合病院開院(平成19年4月1日)



道の駅十文字オープン(平成19年9月16日)



大鳥井山遺跡が国史跡に指定(平成22年2月22日)



全国の男子バレーボール強豪校を集めて第1回わか杉カップ横手大会を開催(平成20年7月11日～13日)



波宇志別神社で行われた国体炬火の採火式(平成19年8月5日)



韓国・ソウル市内で出前かまくらを開催(平成22年1月22日～24日)



B-1グランプリで横手やきそばがゴールドグランプリを獲得(平成21年9月19日～20日)



齊藤陽穂さん(左)と水戸萌々華さん(右)は、横手市と同じ平成17年10月1日生まれ。たいゆう保育園の年中児のお友達に囲まれて、満5歳のお誕生日をお祝いしました。

満5歳になりました。

平成17年10月1日、旧横手市平鹿郡の8市町村が合併し、新しい『横手市』が発足しました。それから丸5年が経過し、横手市も次なる発展に向けて新たな局面を迎えています。温故・創新、この5年間を振り返り、これからの地域づくりとともに考えていきましょう。

横手市誕生から5年目を迎えた今年、住民主導による新たな地域自治をめざして『地域づくり協議会』が発足しました。また、市の行政組織や県との関わりについても見直しが進められています。そういった意味では、単に5年の節目というだけではなく、いろいろな面で転換期を迎えていると言えます。今後の新しい地域づくりを創造するために、まずはこれまで5年間の歩みを温ねてみます。

横手市5年間の歩み

『市報よこて』で見る主なできごと



【No.1】
たくさんの市民の皆さんの笑顔が表紙を飾った創刊号(平成17年10月15号)

- 平成17年
- 新『横手市』誕生(10/15号・No.1)
 - 初代市長に五十嵐忠悦氏、市議会議員一般選挙(11/1号・No.2)
 - 東部斎場竣工(12/1号・No.4)

- 平成18年
- 地域協議会が発足(2/15号・No.9)
 - 横手市誕生記念式典(5/15号・No.15)
 - 高橋勇市さんが障がい者マラソンで2度目の世界一(10/15号・No.25)

- 平成19年
- 新平鹿総合病院開院(3/15号・No.35)
 - 道の駅十文字竣工(10/1号・No.48)



【No.50】
多くの感動と出会いに沸いた秋田わか杉国体の特集(平成19年11月1号)

- 平成20年
- 秋田わか杉国体・わか杉大会、市内では4競技を開催(11/1号・No.50)
 - 『食と農からのまちづくり』プロジェクト紹介(3/1号・No.58)
 - 産業支援センター清算の経緯説明(3/15号・No.59)
 - 全国発酵食品サミットin横手が盛大に開催される(4/15号・No.61)
 - 秋田県立衛生看護学院が新築移転(6/15号・No.65)
 - 岩手・宮城内陸地震発生、市内でも震度5弱を観測(7/1号・No.66)



【No.70】
『増田の蔵』を特集して全国広報コンクールで入賞(平成20年9月1号)

- 平成21年
- 横手駅東口第1地区市街地再開発事業起工(12/15号・No.77)
 - 市観光親善大使に富田伸明氏を委嘱(3/15号・No.83)
 - 14自治体に参加して全国川サミットin横手(8/15号・No.93)
 - 秋田大学横手分校が開設される(9/1号・No.94)



【No.96】
B-1グランプリの熱気と1位獲得の感動を速報(平成22年10月1号)

- 平成22年
- B-1グランプリinYOKOTEに多くの人出(10/1号・No.96)
 - 五十嵐市長再選、市議会議員一般選挙(11/1号・No.98)
 - 大鳥井山遺跡、横手市初の国指定史跡へ(12/15号・No.101)
 - 出前かまくらinソウル交流プロジェクト(2/15号・No.105)
 - 地域づくり協議会発足・始動
 - 3つの商工会が統合してよこて市商工会が発足(4/15号・No.109)
 - 雄物川・大森・大雄統合中学の名称『横手明峰』に決定(5/15号・No.111)
 - 新横手駅舎工事着工(8/1号・No.116)
 - よこてにぎわいイベントFM開設(9/1号・No.118)

さらなる発展への 願いを込めて

市民歌と市の花・木・鳥を制定

10月2日、市制施行5周年記念式典で横手市民歌と市の「花」「木」「鳥」がお披露目されます。

横手市民歌

作詞 安倍 幸一
補作詞 横手市民歌制定検討委員会
作曲 泉谷 閑示

奥羽の山脈 はるかに青く
清らかな流れ 潤して
みなぎる大地よ 萌ゆる丘陵
希望の旗を かかげ合う
伸びゆく横手 たくましく
希望の旗を かかげ合う
鳥海の峰は 朝日に映えて
沃野をわたる 風光り
かがやく稲穂と 熟れゆく果実
育む真心 ひびき合う
稔りの横手 かぐわしく
育む真心 ひびき合う
かまくらの灯り ほのかにゆれて
歴史の息吹 浮かびくる
出羽の郷里に 幸をよぶ
文化のかおり 伝え合う
ゆかしき横手 とこしえに
文化のかおり 伝え合う



作詞者 安倍幸一さん(十文字・61歳・会社員)
※公募230作品からの選考
作曲者 泉谷閑示さん(十文字町出身・48歳・精神科医)
音楽事務所アトリエルエボック主宰
新十文字中学校校歌作詞作曲

市の花「桜」

雪深い横手市で桜ほど市民に待ち望まれている花はなく、市内には横手公園や真人公園など桜の名所が数多くあり、街路樹にも植えられている。市民の心を表すシンボルである。



バラ科の樹木。春に淡紅色から濃紅色の花を咲かせる。

市の木「りんご」市の鳥「白鳥」

増田・平鹿地域をはじめ、横手市で収穫される果樹の代表格。『食と農からのまちづくり』を目指す横手市の象徴にふさわしい木である。桜に続き2度目の花見を楽しませることができる。



バラ科リンゴ属。落葉広葉樹で晩春に白い5弁花を開花。果実は赤や緑。

近年は田畑などに飛来し、横手市の冬の景色にとけ込んでいます。親しみやすく絵になり、群れて空をV字飛行する姿は、飛躍する横手市のイメージにふさわしい。



カモ科。シベリアやオホーツク海沿岸で繁殖。冬季は温暖な日本などに渡り越冬する。

これからの横手市に一言

市制5周年に寄せる市民の声

農業の活性化が大事

高橋 司さん



あつという間の5年間だったような気がします。世の中の厳しい経済状況による影響は、他の産業と同じく農業分野でも深刻です。基幹産業である農業の活性化による収入増が、地域のためには不可欠だと考えます。一次産業がもつ潤い、その経済が市内を循環することで元気な地域づくりにつながっていくと思います。市が進める『食と農からのまちづくり』が大きな成果となるよう、農業に携わる一人として貢献していきたいと思っています。(平鹿・35歳・農家)

一人ひとりが社会資源

佐藤 友紀さん



新しい横手市が誕生して5年が経ち、地域の福祉環境も少しずつ変わってきました。超高齢社会と言われる中で、横手市は高齢者がとても元気なまち。地域のつながりを守って、すべての世代がいつまでも元気に暮らせるような横手市であってほしいと思います。さまざまな制度やサービスはもちろん、市民一人ひとりが、まちをつくる大切な力(社会資源)です。私自信も積極的に地域に出て、自分ができる役割を見つけていきたいです。(山内・29歳・横手市社会福祉協議会)

あたたかい街づくりに期待

大庭喜美子さん



身近な問題の少子化や人口減少に歯止めをかけるためにも雇用の創出が重要だと思います。特に地元に着定できる環境整備の必要性を強く感じます。『まちづくり・ものづくり』については、市民と各団体が様々な面で協力・連携することによって魅力ある展開が期待でき、今まで以上に『地域らしさ』を発揮することが可能になると思います。今後も横手市に住みやすく、いつまでも『あたたかい街』であってほしいと願っています。(雄物川・53歳・縫製業)

安心して暮らせるまちに

柴田 幸雄さん



次世代の子どもたちが、のびのびと健やかに安心して暮らせるまちづくりができるか、行政の重要課題であると考えます。教育とは学校・家庭・地域との連携を大切にし、人間関係の形成や働くことの意味を学び、体を鍛え、思いやりのある人間を育成することが必要ではないかと思えます。子育ての環境、市民と一丸となる自治体運営の確立、無駄な公共事業の削減など、課題はまだ多いと感じます。市のさらなる発展を期待します。(増田・45歳・市PTA連会長)

桃

市長コラム ⑧

横手市長 五十嵐 忠悦

新「横手市」が誕生して満5年。この5年間を振り返り、いま一度、頭を空っぽにして原点に立ち返る。いわゆる「リセット」が必要だと感じています。住民の皆さんにとって『横手市』とは、自治体とは何なのか。それを改めて整理し、再構築することが必要だと思うからです。住民の皆さんからの自然発生的な動きに対し、それをいかにサポートし、応援できるか。あるいは皆さんが上げてくださる声や動きに呼応して、何らかの事業を通して形にしてい。それが実現できれば、それこそまさに行政主導ではない、住民主導の地域社会といえます。

そのために取り組むべきことは、大きく分けてふたつあると考えています。ひとつめは住民とのキャッチボール、すなわち対話のできる行政組織を徹底して強化することです。そのための組織が、地域づくり協議会であり、地区会議です。市民の皆さんと職員とが、一緒になって地域を学び、地域を形作っていく。そうした日々の積み重ねが、光明を見出す手掛かりになると思います。



市制施行5周年にあたって

「リセット」——いま一度、原点へ

5周年にあたり ご提言を募集します

横手市市制施行5周年にあたり、市民の皆さんからこれからの市政、これからの地域づくりに対するご意見やご提言を募集します。

特に、今年度から新たな体制のもとで取り組んでいる地域づくりについては、普段の生活で感じていることや、市政に伝えたいことがあると思います。いただいたおたよりでは、市報でご紹介したいと考えています。ぜひ、そうした「思い」をおたよりでお寄せください。

なお、おたよりをお寄せくださった中から抽選で10名の方に、毎年ご好評をいただいている『大沢葡萄ジュース』横手バイナリーを差しあげます。



商品提供／(社)横手市観光協会
03・7111

【おたよりの送り先】

〒013・8601
横手市条里一丁目1番64号
横手市役所市長公室 広報広聴担当 「5周年提言係」あて
または03・6061
締切 10月30日(当日消印有効)

今議会に提案された一般会計補正予算

■一般会計補正額	5億5,618万5千円
◎主な補正予算の内容	
●本庁機能集約化事業……………	7,770万8千円
●テレビ難視聴解消事業……………	8,404万9千円
●廃棄物処理統合施設整備事業…	2,998万2千円
●浄化槽設置整備事業補助金…	1,130万円
●緊急雇用対策事業……………	1,353万8千円
●附帯県営平鹿平野事業……………	7,909万7千円
●経営体育成基盤整備事業………	5,300万円
●農地農業用施設災害復旧事業…	2,580万4千円
■補正後の予算総額	511億2,843万9千円

は公募で十文字町の安倍幸一さんの作品を採用し、作曲は十文字町出身の泉谷閑示氏に依頼しました。また、広く市政に功勞のあった方の表彰や市出身の著名人によるトークイベントも企画し、多くの市民の皆様とお祝いし、市の一体感の醸成を進めます。

■**過疎地域自立促進計画**
4月1日に過疎地域自立促進特別措置法が改正され、同法の期限が平成28年3月31日まで延長され、当市も「みなし過疎団体」としての指定が継続されました。今回の改正では、道路や施設整備等のハード事業に加え、地域医療の

確保、住民に身近な生活交通の確保などのソフト事業にも充当できるようになり、他にも自立促進のための支援措置が拡充されています。今議会に提案している過疎地域自立促進計画は、各地域づくり協議会やNPOなどの意見を反映したものであり、市の特性を活かしたまちづくりを推進します。

■**定住自立圏構想中心市宣言**
定住自立圏構想は、大幅な人口減少が続く地方において、地域住民の生命と暮らしを守るため、中心市と周辺市町村の連携により圏域で必要な生活機能を確保し、人口定住を促進する政策です。当市は広域的な市町村合併を実施したため、旧市域を中心地域、旧町村域を周辺地域とし、1市で圏域を形成することが認められています。定住自立圏の設定手順は、最初に中心市が『中心市宣言』を行い、その後、圏域内での役割分担などを明示する『定住自立圏形成方針』と、具体的な取り組みを明示する『定住自立圏共生ビジョン』を策定します。維持存続が危ぶまれる集落の増加が見込まれる中で、各地域の個性や資源を結びつけるこ

とで人口流出を食い止めるため、この取り組みを推進したいと考え、市制施行5周年記念式典で中心市宣言を実施する予定です。定住自立圏形成方針は12月定例会に提案し、定住自立圏共生ビジョンは平成23年3月までに策定する予定です。

■**緊急雇用経済対策**
6月末現在の有効求人倍率は、0・36倍と対前年比では改善しているものの低水準であり、新規高卒者の求人状況も例年に比べ出足が鈍く、厳しい雇用情勢が続いていることを再認識しています。6月下旬には、新規高卒者の求人受理開始に伴い、横手商工会議所、よこて市商工会、市内の主要企業3社に対し、県平鹿地域振興局、ハローワーク横手、横手地区高等学校校長会とともに求人を要請しました。新規雇用奨励助成事業の対象期間を1年延長し、平成23年9月末までとしました。また、緊急雇用創出臨時基金事業で新たに市で7事業13人を雇用するための補正予算を計上しています。

■**農業振興**
市の特産品であるスイカは低温による生育の遅れで着果

不良となり、収穫量は前年を2割ほど下回りましたが、総売り上げは前年を下回らないと予想しています。水稲は平年より草丈は長いものの茎数が少なく、収穫量への影響が心配されます。りんごは開花期が遅れた影響で、小さな生育状況で、品種を問わずサビ果が発生しており、品質や販売価格の低下を懸念しています。ぶどうは、ほぼ平年並みに推移しています。

戸別所得補償モデル対策では、8,151戸の農家から加入申請書が提出され、7月30日に市地域水田農業推進協議会を通じて国に提出しており、加入申請率は94・1％となりました。

■**景観計画の策定**
平成21年10月に横手市が景観行政団体になったことにもない、平成23年度末までに景観計画を策定する準備を進めています。歴史や文化など各地域の特性を踏まえ、良好な景観の形成に向け、法に基づく基本方針や行為の制限を定めるものです。今年度は、計画策定委員会を設置し、市民3,000人を対象とした景観に関する意識調査を実施することとしています。

■**「尊厳フォーラムin横手」**
11月7日、市の地域福祉計画の基本理念「みんなが主役 みんなでつくる人」にやさしいまち横手」をメインテーマに『尊厳フォーラムin横手』を開催します。さわやか福祉財団の堀田力理事長などの意見交換や、地域での支え合いの仕組みづくりを考える分科会等を予定しています。

■**工業団地の分譲**
秋田市に本社を置く株式会社堀川が、柳田工業団地に営業所を開設することになり、土地を分譲しました。同社はクレイン工業業、一般貨物自動車運送業、とび・土木工業業を業務とする会社で、今回の進出は横手と大曲の出張所を集約するためのもので、交通の利便性を重要視する先方の意向を汲んだ市の積極的な働きかけが実を結びました。分譲面積は約4,900平方mで、年内には営業所での業務が開始される予定です。

■**住宅リフォーム補助事業**
昨年度に引き続き実施した住宅リフォーム補助事業は、同様の事業を実施する県が予算を増額補正することや、経済効果の高さなどを勘案し、7,000万円を追加し、事業費の総額を1億5,000万円としました。

市議会9月定例会
市長所信説明

交流人口増やし 元気づくりを促進

横手市議会9月定例会が8月30日から9月24日までの日程で開催されました。開会にあたり、五十嵐市長が行った所信説明の中から、主な内容を抜粋してお知らせします。
(市のホームページに全文を掲載しています)



はじめに

7月には市内で局地的に激しい雷雨が発生し、県道横手東由利線と市道二井山上溝線が土砂崩れで一時通行不能となり、各地域で床下浸水や農地の法面が崩壊するなどの被害が発生しました。この復旧のため緊急に必要となった予算は、7月30日付けの専決処分に対応し、今議会にも農業用施設等の復旧や被災農家の支援に係る予算を提案しています。また、8月に入ってから猛暑日が続き、市内でも熱中症で救急搬送される方がおりました。

市独自の景気対策では、住宅リフォーム補助事業と新規雇用奨励助成事業の実施期間を延長。定住促進を図るため、定住自立圏構想を推進することとしました。今後も地域の資源を見詰め直し、活性化につながる施策を検討し、積極的に実施していきます。

市は10月1日で市制施行5周年を迎え、この秋には記念式典をはじめ、数多くのイベントが開催されます。昨年のB・1グランプリと同様、多くのお客様で市全体が賑わうよう、複数のイベントを連結

させるプロジェクトを秋田県や市内の関係団体との協働で進めています。市民の皆様にも積極的にご参加いただき、多くの方との交流で、市の元気づくりにご協力いただきたいと思っています。

新たな施策への取組み

■本庁機能の集約化等

本庁機能の集約化は、当面、本庁南北庁舎、横手庁舎および周辺の既存施設を最大限に活用して対応することとしました。市民の皆様の利便性向上を最優先し、来年5月上旬を目途に、本庁部局の集約化を進めます。将来の方針としては、①新本庁舎は建設しない、②横手庁舎を本庁舎とし、北庁舎、かまくら館、水道庁舎を分庁舎とする、③南庁舎は、庁舎機能を縮小し市民団体等の利活用に供する、④庁舎建設基金を創設し老朽化した地域局庁舎の改築を図る、ことを考えています。組織機構改革は、庁内の検討をさらに重ね、関連議案を12月定例会に提案する予定です。

■どぶろく特区の認定

構造改革特区制度による規制緩和で、農家の皆様がどぶ

ろくを製造できるよう、市は特区計画「発酵に生きる―横手Deux Broque 特区」を国に提出し、6月30日に認定されました。全国では100以上の地域がどぶろく特区に認定されており、他地域との差別化が重要です。市では計画名称に使用したフランス語風の当て字である“Deux Broque”を商標登録し、関係者の連携で品質を高め、ブランド化を進めたいと考えています。どぶろくの製造には、酒類製造免許が必要で、自ら生産した米等を原料とするなどの条件があり、8月11日に説明会を開催したところ、市民10人の参加をいただきました。今後はどぶろく作りに取り組む農家を積極的に支援し、「発酵のまち―横手」の一層の浸透を図っていきます。

平成22年度事業等の 進捗状況

■市制施行5周年記念式典

平成17年10月の新市誕生から5周年を迎えるにあたり、10月2日に市制施行5周年記念式典を挙行します。昨年度から準備を進めてきた市民歌を披露します。市民歌の歌詞

所信説明から(トピックス)

■事業仕分け

8月26日、市の事務事業についての『事業仕分け』を公開で実施。公募者、有識者、他自治体職員など28人の仕分け委員が、新規就農者支援事業、出産祝金支給事業、市営温泉特別会計など30事務事業の仕分け作業を行いました。結果は市のホームページで公開しています。

■地域公共交通

市地域公共交通活性化協議会で、地区や年代ごとに無作為抽出した約9,000人の市民の皆様が『公共交通に関する市民アンケート調査』を実施しています。既存の交通システムを見直し、新しいシステムを構築するための『地域公共交通総合連携計画』策定にあたり、率直なご意見をいただくものです。

■県との機能合体

今年2月に設置した『秋田県平鹿地域振興局と横手市における機能合体等に関する研究会』は4回の協議を開き、機能合体の可能性を検討しています。事務所では、双方の関係部局や類似業務のワンフロア化、事務処理では、権限移譲や職員の派遣などの検討を進めています。

また、敬老の日の9月20日にめでたく満100歳の誕生日を迎えた畠山ヒサさん(平鹿町醍醐)に、五十嵐市長が自宅を訪れ長寿祝



さんない保育園児の踊りに見入る参加者

会では、今年度米寿(88歳)を迎える601人の皆さんに市から祝金が贈られ、今後ますますの健康と活躍をお祈りしました。その後、園児などの太鼓や踊り、寸劇、カラオケなど、会場ごとに趣向を凝らしたアトラクションが披露され、地域全体で参加者の長寿をお祝いしました。



米寿を迎えた皆さんに市から祝金を贈呈(山内地区)

平成22年度敬老会が、9月1日から15日まで市内17地区で開催されました。今年度、敬老会の対象となった75歳以上(昭和11年4月1日以前生まれ)の方は、市内で1万8,692人。敬老会には、4,199人が元氣な笑顔で参加しました。

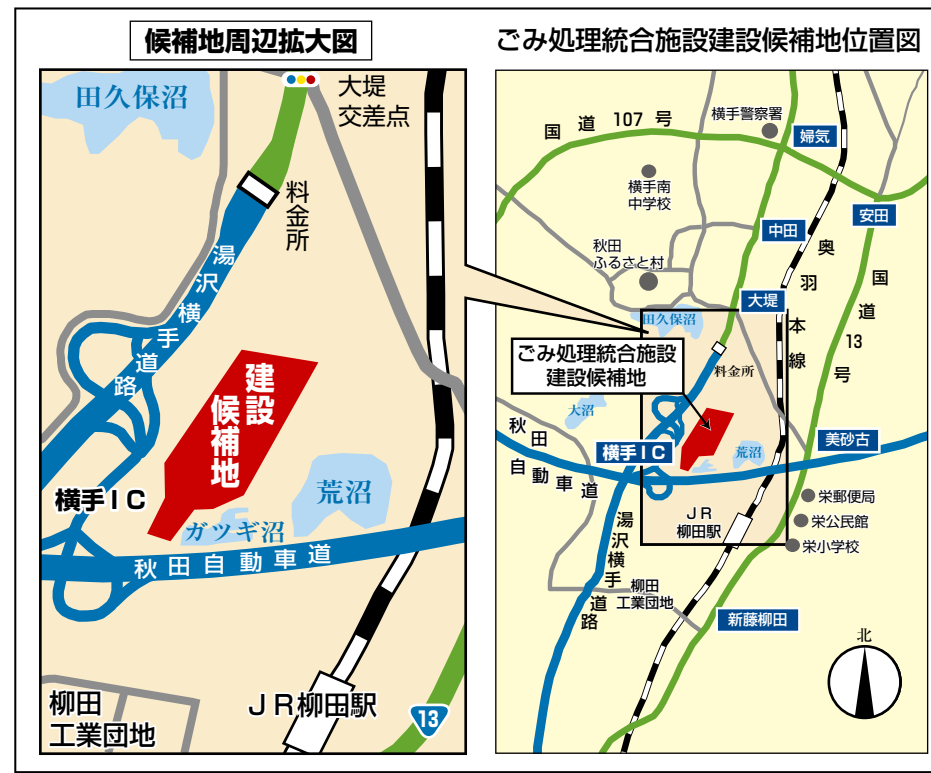
金を手渡しして祝福しました。市内には100歳以上の方が43人(9月22日現在)おり、明治38年11月生まれ104歳の佐々木龍治さん(大雄)が最高齢者となっています。

地域を挙げて長寿を祝福

市内17地区で今年度敬老会を開催

新たなごみ処理統合施設の建設候補地 柳田地内、横手IC近くを選定

これまで懸案となっていたごみ処理統合施設の建設候補地を、横手市柳田字久右エ門沼新田および同中村地内としました。ここは、秋田自動車



市で、7月に建設用地に関する情報提供をお願いしたところ、30カ所の情報があり、その中から5カ所についてさらに詳しい調査や検討をした結果、同所を最終候補地としました。

選定の理由は、用地取得が確実に見込めること、面積や敷地形状による制約がないこと、施設の24時間運転による周囲への影響が少ないこと、地盤状況など施設維持に対する影響が少ないこと、ごみ排出量の多い地域からのアクセスがよく、収集運搬効率がよいことなどです。

ごみ処理統合施設説明会を開催します

新たなごみ処理統合施設の概要や今後の事業計画などに関する住民説明会を開催します。

- 日時 平成22年10月17日(日)午後2時～
- 場所 栄公民館 健康交流ホール
- 内容 施設の概要、今後の事業計画、生活環境影響調査などについての説明、質疑応答

※ごみ処理統合施設に疑問点がありましたら、あらかじめ市環境課環境施設担当までお知らせください。
※駐車場にさがりがありますので、公共交通機関の利用や乗り合わせでの来場にご協力ください。

近隣のごみ処理施設見学会

- 日時 第1回：10月19日(火)午前9時～12時
第2回：10月28日(木)午前9時～12時
- 見学施設 大仙美郷クリーンセンター(大仙市花館)
- 集合場所 栄公民館、市役所南庁舎向かい防雪センター前駐車場(市研修バスで移動)
- 定員 各回先着50人
- 申込み 各回とも開催日1週間前まで市環境課へ電話で申し込んでください。(平日8:30～17:00受付)
※希望者多数の場合は、改めて見学会を計画します。

◆ごみ処理統合施設に関するお問い合わせは
市福祉環境部環境課環境施設担当
☎35・2184
☎52・2114
✉kankyo@city.yokote.lg.jp

今後は、住民説明会などの開催と並行して、生活環境影響調査などを今年度から行う予定であり、平成27年度中の施設稼働を目指します。

環境に配慮し、市民の皆さんの安心と信頼を得られるよう取り組んでまいりますので、ご理解をお願いします。

新基準の『病院機能評価』で認定を更新

市立横手病院

この度、市立横手病院が財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を更新し、認定証が届けられました。

この認定証は、中立・公平な立場の調査者が、決められた項目に沿って病院活動の「あるべき姿」を評価し、一定の水準に達していると認められた場合に交付されるもの。同病院は、平成17年5月に初めて認定を受け、今回は医療の進歩や社会の要請で定められた新しい基準を満たし、認定を更新されました。

県内では15病院が認定されていますが、新基準での認定更新は初めてのことで、同病院では、これをひとつのステップにして、良質な医療の提供と心ふれあう対応に努めています。



市立横手病院

ついにイベントFMの放送が始まりました!

リハーサルと打ち合わせに大忙しのかまくら館スタジオに潜入!



『よこてにぎわいイベントFM』が、ついに9月25日から放送開始しました。今回は、放送開始に向けて大忙しのかまくら館スタジオにお邪魔して、リハーサル中のスタッフの方々から意気込みをお聞きました。



あこちゃんこと塩田明子さん(パーソナリティー)
なんちゃって主婦に塾講師、時にはシンガーソングライターといろんな顔を持つだけ、日々の感動も人一倍の私ノ自然体で、自分らしい放送ができればいいと思っています。毎週月曜日、14:15～15:00「こたつでみかん」毎回生放送でお送りします。どうぞよろしく!

ノリック こと 高橋典義さん(ミキサー、編集)

皆さんはじめまして。スタッフのノリックです。この度は、横手にFMラジオ局ができると聞いて、いても立ってもいられなくなり参加しました。リスナーの皆さんが楽しめるような放送を作っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ホットな情報をお待ちしています

よこての賑わい創出プロジェクトY Y22実行委員会
スタジオ直通 ☎090-2794-4003
✉info@fmyy22.yokotecci.or.jp

ホームページ(スタッフブログも発信中)
http://fmyy22.yokotecci.or.jp

募集

駅前公共公益施設棟の`愛称候補、への意見を募集しています

- 駅前公共公益施設棟の愛称候補が選出されました
現在、建設中の『横手市地域交流センター（仮称）』の愛称募集に、県内外から82点の応募がありました。この度、第一次選考会にて愛称候補6点が選出されました。
- 愛称候補への意見を募集しています！
住所・氏名・年齢・電話番号・愛称への意見を記入のうえ、持参、郵送、ファクス、メールのいずれかの方法で提出してください。詳細は市ホームページにも掲載しています。

- ***Ｙ・Ｙぶらざ**
⇒横手の「Ｙ」と、みんなが集まりワイワイ「Ｙ・Ｙ」にぎやかに交流してほしいという願いを込めて。
- ***De・ふぁーれ**
⇒秋田弁で`外へ出なさい、を表す「でふぁれ」をもじり、人と人が集い、仲間になれる交流施設であってほしいという願いを込めて。
- ***アズマール(Az-marl)**
⇒集まる≒アヅマル（少しなまって）≒アズマール、A z ≒ AからZまで≒全てのひとが集まる場所に、marl≒マール≒○≒輪、多くの人が集いみんなが輪になってつながってほしいという願いを込めて。

- ◆提出期限 10月15日(金)必着
- ◆提出先・問合せ
横手市役所 総務企画部 駅前公共施設準備室
〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号
☎35-2194、☎33-6061
✉ekimaejumbi@city.yokote.lg.jp

- 【愛称候補・内容説明】
- ***みんくる**
⇒老若男女問わず「みん」なが集まって「くる」ような交流施設になってほしいという願いを込めて。
 - ***エスナー**
⇒秋田弁で`良いですね、を表す「ええっすなー」をもじり、East（東側）とStation（駅）の頭文字のES(エス)から始まる名称にし、『この施設エスナー』の一言から交流できる場になってほしいという願いを込めて。
 - ***ふらっと**
⇒みんなが`ふらっと、気軽に立ち寄り、利用できる施設になってほしいという願いを込めて。

墓園

前郷墓園・十文字墓園の利用者を募集します

- *応募者多数の場合や区画場所等は抽選となります*
- 【前郷墓園】横手市前郷字元山115番地
- ◆募集区画
 - 園路墓地(間口2m×奥行3m)・・・25区画
土地のみの墓地で、規定の範囲内で自由な形態の墓石が建てられます。
【永代使用料310,000円、管理手数料2,520円(年間)】
 - 規制墓地(間口2m×奥行2m)・・・16区画
お骨を入れるカロート付きで、規定の墓石と花立を建てていただきます。
【永代使用料230,000円、管理手数料1,680円(年間)】
- ◆申込条件 市内に現住所か本籍を有していること
※お墓がなく、遺骨を自宅等で保管している方優先(火葬許可証が必要)
- ◆申込み 横手地域局市民課窓口にある申請書に必要事項を記入し、提出してください。
- ◆申込期限 10月7日(木)～27日(水)
- ◆申込先 横手地域局市民課 ☎32-2703

- 【十文字墓園】横手市十文字町梨木字堤ノ上56番地
募集区画に空きがあるため、引き続き募集します。詳細はお問い合わせください。
- ◆募集区画※平成22年8月募集開始時点での区画数
○規制墓地(間口2m×奥行2m)・・・39区画
- ◆問合せ 十文字地域局市民福祉課 ☎42-5113

公売

差押えした財産を公売します

- 市税の滞納処分として差押えた財産を、入札により売却(公売)します。



- ◆公売不動産
 - 土地 所 在／横手市中央町274番1 ほか2筆
総面積／424.70㎡ 地 目／宅地
 - 建物 所 在／横手市中央町274番地
用 途／居宅兼店舗 建築年／平成8年
面 積／1階244.49㎡、2階85.90㎡
構 造／木造重鉛メッキ銅板葺2階建
- ◆最低売却価格 860万円（土地・家屋一括）
- ◆公売保証金 90万円
- ◆入札資格 横手市税に滞納のない方等
- ◆入札日時 10月28日(木)午前10時30分～
※午前10時10分～入札説明
かまくら館5階 ふれあいルーム
- ◆入札会場 10月13日(水)午後1時30分～3時30分
市財務部納税課(横手庁舎内) ☎32-2518
- ◆下 見 会
- ◆問 合 せ

鳳中・横手西中・金沢中 統合中学校の新校名を募集します

- 平成25年4月に、鳳・横手西・金沢の3つの中学校が統合し、新しい中学校が誕生します。
現在、市教育委員会では横手地域の静町・八幡地内に学校用地を求め、学校施設の整備に取りかかっています。この場所で、次代を担う子どもたちが新たな歴史を刻むにふさわしい新しい中学校の校名を、市民の皆さんから募集します。
- 統合中学校の建設予定地は東に奥羽山脈、「御獄山」を望み、西に横手盆地の穀倉地帯が広がり、その背景には鳥海山を中心に羽丘丘陵という眺望に長けた自然豊かな場所です。
- 応募資格（次のいずれかに該当する方）
 - ・横手市内に住所を有する方
 - ・横手市内に通勤または通学している方
 - ・横手市出身の方

- 応募方法
規定の応募用紙(※)、または任意の用紙等に次の所定事項を記入して、持参、郵送、ファクス、メールのいずれかの方法で応募してください。(1人1点)
※応募用紙は市教育委員会事務局、各地域局地域振興課窓口、各生涯学習センターで配布します。また、市のホームページからもダウンロードできます。
- 【所定事項】
校名(よみかた)、校名に込めた思い
応募者の氏名・住所・電話番号・性別・年齢
- 【提出先】
横手市教育委員会 教育総務部 学校統合推進課
〒013-0205 横手市雄物川町今宿字鳴田1
☎22-2116、✉gakkotogo@city.yokote.lg.jp
- 応募締切 11月30日(火)【必着】
- ◆問合せ 市教育委員会学校統合推進課 ☎35-2145

横手市増田まんが美術館

オープン15周年記念事業にご参加ください

記念事業①

【まんが美術館15周年記念イベント】

10月19日(土)午後1時30分～
 10月20日(日)午後1時30分～
 増田まんが美術館

【第1部／講演】
 矢口高雄氏記念講演～画業生活40年を振り返る～
 【第2部／シンポジウム】
 「マンガを活かした地域活性化」
 パネリスト：矢口高雄氏、倉田よしみ氏、
 里中満智子氏(マンガジャパン事務局長)、
 木村忠夫氏(日本漫画学院長)

【第3部／解説講演】
 「矢口作品と教育」谷川彰英氏(筑波大学名誉教授)

記念事業②

【矢口高雄画業生活40周年特別企画展】

今年で画業40年を迎える矢口氏の特別展を開催します。
 矢口氏の描いたマンガ原画のほか、風景や動植物の絵画作品を多数展示。また、同世代の漫画家・石ノ森章太郎氏などの原画も展示します。

◆期間・時間
 10月2日(土)～11月28日(日)
 午前9時30分～午後5時

◆入場料
 大学生・一般500円、中高生300円、小学生200円

◆場所・問合せ 増田まんが美術館 ☎45-5556

市長面会日のお知らせ

◆日 時／10月19日(火)午前9時～10時30分

◆申込期限／10月14日(木)※1人につき15分程度

◆申込み・問合せ／市総務企画部市長公室秘書担当
☎35-2111(内線1033,1034)

○市県民税3期

○国民健康保険税4期

○介護保険料4期

○後期高齢者医療保険料4期

※年金天引きでないもの

納期限は11月1日です

◆納期限を過ぎる場合は

納税相談にお越しください。

◆市財務部納税課(横手庁舎)☎32-2518

11月 -November-												
①	2	3	4	5	6							
7	8	9	10	11	12	13						
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27						
28	29	30										

11

市報よこて 2010(平成22年).10.1 No.120

No.120 2010(平成22年).10.1 市報よこて

10

▼9月7日、十文字町
仁井田新山神社



▼9月8日、
増田町八木神社

金澤八幡宮祭典

▶9月14～15日、金澤八幡宮長床ほか



伝統掛唄大会には、昨年に続き新潟大学教育学部の伊野義博教授が音楽科の学生10人と共に参加しました。同科には横手高校卒で3年生の松本拓さん（大仙市出身・左）と1年生の伊藤葵さん（地元金沢出身・右）が所属。「他県出身の仲間と一緒に参加できてうれしい。これから多くの人に聴いてもらいたい」と語り、息の合った掛唄を披露しました。優勝は美郷町の後藤弘さん。

祭典ではこのほか、金沢八幡太鼓やささら舞、奉納相撲などが行われました。



浅舞八幡神社祭典

▼9月18・19日、覚町通りほか
飾り山車とお囃子が会場を盛り上げる。（18日の宵祭り）



第87回 増田の花火

▼9月14日、増田町八木川原

楽しいイベントや伝統行事が目白押し。『よこて黄金月間』がいよいよ始まりました。
にぎわいと伝統。魅力たっぷりの横手の秋はまだ続きます。

にぎわいと伝統
輝く横手の秋！

きてたんシエ ひらかまつり

▼9月4日、浅舞公民館駐車場



躍動感あふれる演舞で会場を魅了する横手YOSAKOIキッズのみなさん

第8回 あきたYOSAKOIキッズ祭り

▶9月12日、秋田ふるさと村・横手サティ

第24回 いものこまつり in 鶴ヶ池

▶9月19日、鶴ヶ池公園ふれあい広場

名勝負に会場が沸いた『いものこピラミッド競技大会』



▼9月5日、たくさんの方々が園内の散策や記念撮影などを楽しみました

たいゆう緑花園パノラマフェスタ

救急フェア救急のつどい2010 in 横手



9月11日、救急医療の正しい知識と理解を深めることを目的に『救急フェア救急のつどいin横手』が平鹿生涯学習センターで開催され、約350人が参加しました。会場ではAEDの操作方法や脳卒中と救急対応についての講話、市消防職員による応急手当についての寸劇などが行われました。また、未来の救急車消防車の絵画展示や地元の園児による演目も披露され、来場者を楽しませました。

児童生徒理科研究作品展



9月11・12日、市教育センターで『児童生徒理科研究作品展』が開催されました。これは、子どもたちのがんばりを知ってもらおうと同センターと市理科教育研究会が毎年行っているもので、理科工作・採集標本・研究記録の3部門に578点の力作が並びました。今年は例年に比べ、理科作品部門の出品が多く、身近な材料を利用したリサイクル作品や地球環境を題材にした作品が多く出展されました。

線路沿線をクリーンアップ（十文字）



9月5日、梨木公園・西原地区クリーンアップ大作戦が地域住民や地元企業などから約100人が参加して行われました。これは、梨木公園や十文字駅周辺のゴミの不法投棄が目につくと、十文字地域づくり協議会に報告されたことがきっかけとなり、よこて市商工会青年部十文字・増田両支部が地域住民などに呼びかけ実施したもの。普段は手をつけられずにいた線路沿線や側溝などを清掃し、心地よい汗を流しました。

元気の出る健康まつり&大森病院祭（大森）



9月5日、『元気の出る健康まつり&大森病院祭』が健康の丘おおもりで開催され、健康相談コーナーやらくらく体操、健康講演会などの健康に関する催しが行われました。『三味線と生きる』と題した津軽三味線プレイヤー・小林史佳氏の講演と演奏会では三味線に合わせて観客が歌ったり、三味線の手ほどきを受けたりする場面もありました。観客は小林氏の三味線から元気をもらっていました。

菊の手まり寿司



食事バランスガイド

主食/黄色	1	2	3	4	5	6	7
副菜/緑色	2	3	4	5	6		
主菜/赤色	3	4	5				
牛乳・乳製品 /むらさき色	2	3	4	5			
果物 /青色	3	4	5				

1人分の栄養素
エネルギー 351.0Kcal
タンパク質 10.5g
塩 1.7g

材料（4人分）

○お米…2合 ○食用菊…100g ○レンコン…80g ○スモークサーモン…40g ○生ハム…40g ○ミツバ…少量
○合わせ酢①…酢大さじ3、砂糖小さじ2、塩小さじ1/3
○合わせ酢②…酢大さじ2、砂糖大さじ1と1/2、塩小さじ1/2、だし汁大さじ1

作り方

- ①菊の花を洗って①の合わせ酢に20分ほど浸ける。レンコンを薄切りにして酢を入れたお湯でさっと茹で、合わせ酢②に20分ほど浸ける。スモークサーモン、生ハムは一口大に切り、ミツバは熱湯にくぐらせしなりさせておく。
- ②具を取り出した合わせ酢①②を合せて、炊きあがったご飯と混ぜる。次に食用菊とレンコンを加えて混ぜる。
- ③ラップにミツバ、スモークサーモンまたは生ハム、②の酢飯の順にのせて茶巾にする。

◎今月の紹介者



横手市食生活改善推進協議会
十文字支部

佐藤啓子さん（十文字）

一口大で食べやすく、成長期の子どもの補食としてもお勧めです。スモークサーモンの代わりに甘塩の鮭やロースハムでも美味しくできます。野菜の小鉢を添えると栄養のバランスがとれます。

10月の旬食材

『食用菊』

菊は奈良時代に中国から伝わったと言われ、観賞用や薬として古くから日本人に馴染みのある植物です。

食用菊は苦味が少なく程よい甘味があり、さわやかな香りが特徴です。鮮やかな黄色は食卓を明るく彩り、『花の王様』と言えるのではないのでしょうか。（秋田園芸連十文字バイオ研究会・高橋伸男さん）



えがおの交差点



郷土芸能サークル【大森】 八沢木節保存会



保呂羽山羽宇志別神社に梵天を奉納する際に歌われてきた八沢木節。ホラ貝の合図と「ジョヤサー、ジョヤサー」の掛け声に合わせ、勇壮な中にも素朴さを持ち合わせた伝統ある梵天唄です。

八沢木節保存会は、梵天奉納が10年ほど前になくなり「このままでは八沢木節を歌える人がいなくなってしまう」との思いから平成11年に発足。現在、5人が所属し毎月第3土曜日の午後に約2時間、前田公民館で練習をしています。

「八沢木節は梵天奉納だけではなく、宴会の席などでも必ず歌われる、体に染み付いた特別な唄。後世に歌い継がれるよう大切にしていきたい」と真剣な眼差しで話す会員の皆さん。

代表の菊池さんは「何回か練習をするうちにコツがつかめます。今年からは霜月神楽の『米とぎ唄』も歌う予定ですので、興味のある方は、ぜひ見学に来てください」と話していました。

◆問合せ 平元さん ☎090-7336-1499

※NBA日本バーテンダー協会

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。伊藤さんは、前回の福田さんからのご紹介です。

尊敬する先輩の背中を追いながら、バーテンダーとして日々カクテルと向き合う伊藤さんは、BAR『ポットスチル』に勤務しています。

ふとしたきっかけからバーテンダーを志して3年、一心不乱に技術を磨いてきた伊藤さん。「仕事などで疲れたお客様を少し癒やすことができればうれしい」と穏やかな笑顔で語ります。

昨年10月、バーテンダーの腕前を競う『カクテルアワード2009（サントリイ主催）』に東北代表で出場し入選。今年4月の『NBA第15回全国ジュニアバーテンダーカクテルコンペティション秋田大会』では優勝を果たし、今月31日に東京で行われる全国大会に臨みます。

「大会では県の代表として、今の自分ができる最高の演技をしたい」と意気込む伊藤さん。「やるからにはこの道を究めたい」という熱意がこもった真剣なまなざしがとても印象的でした。



伊藤 健太さん

いとう けんた（23歳・横手）

思えば遠くへ来たもんだ

半田 きよ子さん

はんだ きよこ（62歳・横手）



きよ子さんは東京都府中市の出身です。夫の金雄（かねお）さんは21歳で結婚。その後、長男と長女を出産し、都内での生活を経て昭和49年8月に金雄さんの実家のある金沢地区に移り住みました。

金沢地区の印象を「私が育った頃の府中に雰囲気似ている」と話すきよ子さん。48豪雪の翌年とはいえ、降り積もる雪の多さに驚きつつも、家族や地域のみなさんとの暮らしを楽しんできました。

きよ子さんの生きがいは、平成2年に亡くなった義父・金一さん直伝の野菜づくり。勤めていた縫製工場を定年退職後、丹精込めて育てた旬の野菜を四日町の直売所『あばだらけ』に出荷しています。

職人気質で農業にはとても厳しかったという金一さんに「んがも慣れたなあ（お前も慣れたなあ）」と言われたときは本当にうれしかったと振り返るきよ子さん。「野菜は手かけた分だけ良いものができる。自分が食べておいしい、そして何より安全・安心な野菜を作り続けたい」と、これからの抱負を語ってくれました。



情報

information

講 大鳥井山遺跡国史跡指定

座 記念イベント

「大鳥井山遺跡?ヨリトオって誰?」と題し開催します。

日時/10月16日(土)午後1時～4時30分

場所/あさくら館

内容/岩手大学・樋口知志教授による記念講演、児童研究発表、創作子ども歌舞伎

問合せ/市教育委員会文化財保護課 ☎24・3480

募 未来農業のフロンティア

集 育成 研修生募集

県農業試験場や果樹試験場などで農業技術を習得し、就農に活かそうとする研修生を募集します。

研修期間/約2年間(平成23年4月～25年2月まで)

募集定員/全県で23人

応募条件/①研修終了後就農予定で40歳未満の方②学校長または農協組合長から推薦が

得られる方
◆応募期限/10月15日(金)
◆助成/研修奨励金あり
◆問合せ/市産業経済部農業政策課 ☎45・5522

講 パソコン農業簿記講習会

日時/10月21日(木)午後1時30分～4時、22日(金)午前9時～午後4時
場所/横手庁舎

対象/①認定農業者や配偶者、後継者②農業簿記に興味のある方(実際にやっている方)③2日間とも受講できる方

定員/20人

参加費/無料

申込期限/10月15日(金)

申込み/市産業経済部農業政策課 ☎45・5522

講 横手市児童虐待防止講演会

特定非営利法人・遊び環境 Museumアフタフ・バーバン

理事長・北島尚志氏を講師に迎え「子どもの時間を生きるということ」と題した講演会を開催します。

日時/11月6日(土)午後1時～3時

場所/平鹿生涯学習センター

参加費/無料

問合せ/市福祉環境部子育て支援課 ☎35・2133

講 横手市民「食のアカデミー」

座 地産地消料理講習会10月期

テーマ/「大地のめぐみで満腹レシビ」

日時/10月13日(水)午前10時～午後1時

場所/大雄ふれあいホール

参加費/500円(材料代)

申込開始/10月4日(月)午前9時(先着20人)

申込み/よこて「食のアカデミー」 ☎35・2193

講 市立図書館主催

座 図書館教養講座

秋田デザインサポート会議・代表・澁谷和之氏を講師に迎え「デザインとビジネスのすてきな出会い」と題した講演とワークショップを開催します。

日時/10月16日(土)午後2時～3時30分(参加無料)

場所/雄物川図書館

問合せ/市立中央図書館(雄物川図書館) ☎22・2300

催 ウォーキングのための

足腰メンテナンス教室

日時/10月15日(金)午前10時～11時30分

場所/横手保健センター

定員/先着50人(参加無料)

※動きやすい服装、運動靴

申込開始/10月1日(金)

申込み/横手保健センター ☎33・9600

催 第1回緑いっぱいのゴルフ場を歩く会

ゴルフ場内をゆっくり2時間程度歩きます。

日時/10月15日(金)午前8時～正午

場所/羽後カントリー倶楽部

定員/30人

参加費/600円(軽食、ドリンク代)

申込期限/10月8日(金)

申込み/大森生涯学習センター ☎26・4073

催 ゆつぷる主催

秋の自然散策会

日時/10月17日(日)午前9時～午後3時

コース/当日までのお楽しみ

参加費/2,000円(昼食、入浴付)

定員/30人

申込期限/10月10日(日)

申込み/ゆつぷる ☎25・3801

相 パソコンを始めた方

談 相談を受け付けます

パソコン操作が初めての方の相談に応じます。相談者の方と日程を調整して、後日講座を開催します。

受付期限/平成23年3月(平日・午前9時～午後5時)

申込み/女性センター ☎33・3995

講 第2回西部地区

座 家族介護者教室の開催

介護機器を利用し、在宅介護のアドバイスを行います。

日時/10月13日(水)午後1時30分～3時30分

場所/雄物川コミュニティセンター(入場無料・定員30人)

対象/市内で在宅介護をしている方や介護に関心のある方

申込み/横手市社会福祉協議会雄物川福祉センター

☎56・2072

募 県営住宅入居者募集中

募集 募集住宅

手市陸成字吉沢上台63)3戸(3K)県営朝日が丘住宅横手市朝日が丘三丁目)1戸(2DK)

募集期限/10月8日(金)

問合せ/県平鹿地域振興局建設部建築課 ☎32・6206

催 「健康づくり教室」参加者大募集!

日頃の食生活における生活習慣病予防の健康講話とウォーキング教室を開催します。

日時/10月20日(水)午前9時30分～午後0時30分

場所/県立近代美術館(秋田ふるさと村内)

定員/100人(参加無料)

申込期限/10月13日(水)

相 行政書士会横手支部主催

行政書士無料相談会

各種契約、許認可申請、法人の設立、相続や遺言に関する手続きなどの相談に応じます。

日時/10月16日(土)午前11時～午後3時

場所/横手サテイ

問合せ/秋田県行政書士会横手支部 ☎33・5171

相 調停無料相談会

交通事故や家庭内暴力、借金など、様々な心配事について裁判所調停委員が相談に応じます。関係書類がある方はご持参ください。

日時/10月8日(金)・11月26日(金)、午前10時～午後3時

場所/秋田地方・家庭裁判所横手支部(城南町)

問合せ/横手調停協会 ☎32・4130

相 秋田地方方法務局横手支局

市民講座 『市民講座』等の開催

土地の証明書の見方、相続、相続登記について説明します。

日時/10月7日(木)午後2時～4時20分

場所/秋田地方方法務局横手支局

◆定員/20人

◆申込期限/10月4日(月)

【法務なんでも相談所】

登記・供託・戸籍・人権擁護に関する相談所を休日開設します。

日時/10月17日(日)午前10時～午後3時(※事前予約不要)

場所/横手中央公民館

問合せ/秋田地方方法務局横手支局 ☎32・5153

相 不動産鑑定士による

無料相談会

地価公示・地価調査の標準価格や、不動産の価格・賃料など不動産鑑定に関する相談に応じます。

日時/10月7日(木)午後1時30分～4時

場所/あさくら館

問合せ/秋田県不動産鑑定士協会 ☎018・884・1509

お知らせ 国民年金基金に加入して

年金を増やしませんか?

国民年金基金は豊かな老後のために基礎年金の上積年金として給付を行う公的な制度です。掛金は一定で、全額「社会保険料控除」の対象になり、受け取る年金は「公的年金等控除」が適用になるなどの特典がありますので、ご検討ください。

問合せ/秋田県国民年金基金 ☎0120・65・4192

◆よこて市商工会合併記念事業、を開催します

よこて市商工会合併記念事業開催日/10月19日(火) 入場無料
【ビジネスマッチング商談会】
◆時間/午前10時～午後3時30分 ◆場所/平鹿体育館
◆内容/参加事業所の商品などを展示・紹介し商談の機会を設け、市民にも商工業者の情報を提供します。
【記念講演】
◆時間/午後5時～6時 ◆場所/平鹿生涯学習センター
◆内容/ダニエル・カール氏が「がんばっぺ!オラの大好きな日本・秋田」と題して講演します。
◆問合せ/よこて市商工会 ☎42-0406

稲わら・もみ殻の焼却をやめましょう!

稲わらスモッグの発生を防止するために秋田県公害防止条例では、10月1日から11月10日までの期間、稲わら等の屋外燃焼行為(燐炭製造も含む)を禁止しています。また、稲わら・もみ殻に限らず、いわゆるゴミの野焼きについても禁止されています。地域住民の健康または生活環境を損なうことのないようご協力をお願いします。未来の子どもたちに豊かな環境を引き継ぎましょう!
◆問合せ/市福祉環境部環境課 ☎35-2184



い

どばたプラザ

idobata plaza

「いどばたプラザ」は、市民団体やNPOなどからのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。

横手墨絵の会「水墨画展」
●期間／10月1日(金)～31日(日)、午前9時30分～午後5時 ●場所／秋田ふるさと村(1階工芸展示館) ●問合せ／小西さん ☎32-5119

南部シルバーエリア 各種イベント案内
【淑扇会かな文字展「小倉百人一首」】 入場無料
●期間／10月1日(金)～27日(水)、午前9時～午後5時
【料理教室】野菜ピピンバ・キムチチゲ
●日時／10月31日(日)午前9時50分～ ●参加費／1,000円(材料費・保険料込) ●定員／20人 ●申込期間／10月1日(金)～20日(水) ●持ち物／エプロン、筆記用具 ●申込み／南部シルバーエリア ☎26-3880

楽しく学ぶ!『中級英会話教室』(初回無料)
●日時／毎月第1・2・3火曜日、午後7時～9時 ●場所／秋田県南部男女共同参画センター ●内容／アメリカ人講師とのフリートーキング ●問合せ／備前さん ☎36-2621

歌の好きな人集まれ ～思いっきり歌声喫茶～
●日時／10月7日(木)午後7時開演 ●場所／煉瓦屋(寿町) ●参加費／1,000円(軽食付) ●予定曲／紅葉など20曲以上 ●問合せ／煉瓦屋 ☎33-2811

国際ソロプチミスト横手 第26回チャリティーバザー
●日時／10月10日(日)午前9時30分～ ●場所／かまくら館 ●問合せ／事務局 鶴田さん ☎32-2124

就職活動応援『就活KnowHow集中セミナー』
39歳までの求職活動者(学生を除く)を対象に、応募書類作成や面接対策などを学ぶ講座です。
●日時／10月13日(水)～15日(金)、午前10時～午後4時
●場所／横手市民会館 ●参加費／無料 ●定員／15人
●申込み／フレッシュワークAKITA ☎018-826-1735

はな い ゆ き

花井悠希リサイタル 北の国から～さだまさし名曲集～

◆日 時／10月23日(土)午後6時30分開演
◆場 所／横手市民会館【全席自由】
◆入場料／一般2,000円、高校生以下1,000円(当日500円増)
◆チケット販売／カシワヤ楽器、金喜書店、楽器の店カネキ、かまくら館、横手市民会館
◆問合せ／横手市民会館 ☎32-3136

『わくわく子育てフェスティバル』in秋田ふるさと村

◆日 時／10月9日(土)～11日(月)、午前10時～午後3時
◆主な内容／
【こども歯科相談、男鹿水族館わくわく出前授業、ふれあい動物コーナーなど】9日～11日、午前10時～
【こども健康相談、プチしごとの王国】11日、午前10時～
【ワクワクおはなし会】9日～10日、①午前10時30分～②午後1時～③午後2時10分～ ※10日は①②のみ
【パパママのための絵本教室】10日、午後2時10分～
【図書館おすすめ本の貸出600冊】9日～11日、午前10時～
横手市立図書館の絵本やお助け育児書などを展示しますので、図書館利用カードを持参してください。
◆問合せ／秋田ふるさと村 ☎33-8800

『星の観察会』秋の星座の探し方・月面・木星・二重星の観察
●日時／10月16日(土)午後7時～9時(雨天・曇天は中止)
●場所／秋田ふるさと村第四駐車場 ●参加費／無料 ●問合せ／横手星の会 武市さん ☎33-3997

横手混声合唱団『第38回定期演奏会』
●日時／10月17日(日)午後1時30分開演 ●場所／横手市民会館 ●入場料／500円 ●問合せ／柴田さん ☎32-8037

自然を愛する皆さんの集い
●日時／10月17日(日)午後1時開演 ●場所／煉瓦屋(寿町) ●内容／講演①懐かしの風景～横手の朝市、歴史～②横手の名所 相撲甚句に ●参加費／800円(軽食付) ●問合せ／煉瓦屋 ☎33-2811

公開討論会『横手駅前の活性化と各地域のまちの再生を』
●日時／10月17日(日)午後1時30分～ ●場所／よこてシャイニーパレス ●内容／講演①まちづくりとは何か ②シャッター通りはなくせる ※講演終了後自由討論 ●資料代／100円 ●問合せ／西田さん ☎42-2953

横手読書会 10月例会
●日時／10月20日(水)午後2時～ ●場所／女性センター ●演題／日本最初のハーピスト(ハーブ奏者)～阿部よしゑと横手～ ●問合せ／横手図書館 ☎32-2662

県立美術館移転新築記念『レオナルド・フジタがやってきた』横手展
藤田嗣治氏の大壁画『秋田の行事』などを展示する県立美術館は平成24年に移転新築します。これに先立ち藤田氏が描いた油絵・版画・スケッチなど約60点を展示します。
●期間／10月23日(土)～31日(日)、午前9時30分～午後5時 ●場所／県立近代美術館 ●入場料／無料 ●問合せ／県立近代美術館 ☎33-8855

市民公開講座『動物と楽しく暮らすために』
●日時／10月23日(土)午後1時～3時 ●場所／旭ふれあい館 ●講師／東京大学大学院・松木直章准教授 ●参加費／無料 ●問合せ／むらおか動物クリニック ☎36-1331

『絵で伝えよう!わたしの町のたからもの』絵画展作品募集
11月6日～7日に開催する絵画展の作品を募集します。
●テーマ／住んでいる地域や町などで、郷土の宝として大切にしたいもの(祭り、神社、町並み、建物、風景、友だちなど)※画材・大きさ自由 ●募集対象／園児から中学生 ●募集期限／10月25日(月) ●問合せ／柿崎さん ☎32-1100

献血日程			
月日・地域	実施場所	実施時間	種類
10月1日(金) 横手	㈱ユアテック横手営業所	9:30～12:00	全血
	すこやか横手	13:45～14:30	
	秋田トヨペット㈱横手店	15:00～16:00	
10月3日(日) 横手	よねやハッピータウン (骨髄バンク登録会同時開催) (ふれあい献血キャンペーン)	10:00～16:00	全血
	雄物川保健センター	10:00～12:10	
10月4日(月) 雄物川	電研産業㈱秋田工場	12:30～13:20	成分
10月6日(水) 十文字	幸福会館	10:00～12:00	
		13:00～16:00	

休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	10月1～9、13日	えがいの丘	10月4・12日
増田図書館	10月1・4・12日	三吉山荘	10月5・12日
平鹿図書館	10月1・5・12日	(※10月20日で営業終了)	
雄物川図書館	10月1・6・13日	大森健康温泉	10月4・12日
大森図書館	10月1・5・12日	ゆとりおん大雄	10月7日
十文字図書館	10月1・6・13日	南部シルバーエリア	10月4・12日
山内図書館	10月2・3・9～11、16・17日	子どもと老人のふれあいセンター	10月4・12日
大雄図書館	10月4・7・11・14・17日	健康の駅トレーニングセンター	10月4・12日
雄物川資料館	10月4・12日	東部	10月6・13日
ゆっぷる	10月20日	西・南部	10月2・3・9～11・16・17日
ゆとり館	10月5・12日	(※4日は午後から臨時休業)	

診療所

ご確認ください

【増田地域】

増田町診療所(耳鼻咽喉科)

診療日 10月6・13日(水)

診療時間 14:00～15:30

【雄物川地域】

えがいの丘診療所

診療日 10月6・13日(水)

診療時間 14:30～15:30

大沢診療所

診療日 10月12日(火)

診療時間 13:30～14:30



大森ワインを愛するすべての人へ
注ぎ続ける情熱

「ようやく全国展開ができた。ここで終わらせるわけにはいかない。そう語る巧の眼からは、ワイン用ぶどう栽培への熱い思いが伝わってくる。

昭和57年、ワインメーカー・メルシャンと旧大森町とでワイン用ぶどう・リースリングの契約栽培が開始し、昭和60年に『ワイン用ぶどう生産組合』が発足。その2年後、県内で『大森ワイン』の販売が開始された。「当初は栽培方法さえ分からず、何もかもが手探り状態。戸惑いばかりだった」と振り返る。

ぶどうは9月中旬から下旬にかけて、糖度が13度以上になったころ合いを見計らって収穫する。栽培手間は同じでも毎年味が違うため、気は抜けない。何年経っても栽培者「一年生」の気持ちだという巧。手をかければキリがないが、より美味しいぶどうになることを願って丹精してきた。それでも「来年の春、このぶどうがワインになって帰ってくるまでは安心できない」と目を細める姿は、我が子の成長を見守る親のようだ。出来上がったワインを飲んだときが、本当の至福のときだという。

平成22年10月1日。メルシャンから『シャトー・メルシャン 大森リースリング2008』が全国販売された。平成20年に収穫されたぶどうは気候に恵まれ品質がよく、フルーティな味と華やかな香りがリースリングの特徴がよく出ていると高い評価を得た。新たな一歩を踏み出した大森ワイン。ワインを飲んだすべての人が笑顔になれるように…、横手市大森を誇れるように…、そんな思いでぶどう棚に手を伸ばす。

ぶどう栽培を始めて26年。その視線の先には、今年も、巧の想いがぎっしり詰まった一粒一粒が太陽を浴びて輝いていた。

やっとの思いでここまでこれた。
ここからまた、新しいスタートだよ。



和泉 定雄さん(74歳・大森)

いすみ さだお
昭和11年、旧八沢木村生まれ。高校を卒業後家業の農家を継承し、平成2年からは旧大森町農業委員を4期12年務めたほか、平成10年より大森ワインぶどう生産者組合長を10年務める。現在は副組合長として、これまでの知識と経験を活かし、より品質の良いワイン用ぶどうの栽培に挑戦し続けている。



トマト、ぶどうのジャムとすいか糖をセットして3名様フレゼントします。



【提供】おものがわ夢工房
☎22-4128

今月の読者
プレゼント

味わい深いジャム
『粋果の雫』セット

伝統の味「すいか糖」を復活させた、おものがわ夢工房の皆さんが、すべて横手産の原材料でやさしく味わい深いジャム『粋果の雫』を作りました。さくらんぼ、

あとがき
暑かった夏も秋を迎えました。今年の夏は言うまでもなく、例年にない猛暑。気象庁は「30年に一度の異常気象」という見解を発表しました。偏西風が蛇行し日本上空の高気圧に影響を与えたことなど様々な原因があるようです。また、残暑も厳しく秋が短くなりそうです。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋。何をすることも良い季節です。皆さんはどのように過ごしますか。秋の夜長、私は最近めっきり話す機会の少なくなってきた思春期の息子と、ゆっくりと話をしようと思います。(伸)

応募方法
発行号「10月1日号」で、郵便番号、住所、氏名、年齢を明記し、必ず「たより」の文面を添えてお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
締め切りは **10月25日(消印有効)**

ふれあい
語り合い

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

夏休み、単身赴任暮らしのもとへ家族が来た。ふと娘が一組なので毎日ジャンケンでふとん取り。残りはキャンプ用シュラフでのごろ寝状態。子どもたちとふるさと村やまくら館を見学。楽しい夏でした。中でも、送り盆まつりの屋形舟のぶつけあいと花火は一番の思い出になったようです。屋台での金魚すくい、ババヘラアイスの食感も気に入ったらしい。家族が帰ったのは、後にアパートに残ったのは、よね子、ババちゃん、へらちゃん、アイスちゃんと命名された4匹の金魚…(笑)。やむなく世話してます。
(ルート66さん・52歳・横手)

私は秋田市出身で、8年前に結婚し、今は子ども2人とだんなの4人で、横手市の住宅で暮らしています。夏は暑く、冬はものすごい雪の量におどろきました。でも、今はこの横手での暮らしが大好きです!! 果物だーいすきなワタシ。今年は横手産のスイカをたくさん食べました! 次は、ぶどうがお腹いっぱい食べたいです!!
(ローズさん・28歳・横手)

自然が好きで山歩きをします。周りの木や花をながめながら山菜やきのこを採ることが、私のリフレッシュです。でも今年の夏はあまりにも暑かったので、バテないように自分で作った『シソジュース』で残暑を乗り切ろうと、可愛い孫たち(5歳・3歳・2歳)と乾杯しています。
(佐藤てる子さん・57歳・雄物川)

9月8日、平鹿地区の敬老会に参加させて頂きました。連日の猛暑も和らぎ、さわやかな過しやすい一日でした。醍醐保育園の園児さんたちの元気一杯の太鼓とかわいい歌声、御嶽清流太鼓保存会の力強くすごい迫力の響き、婦人会の方々のなつかしい曲の演奏とおどり。久しぶりに気持ちが明るくなり元気を貰いました。けれども、ひとつ残念なことがあります。会場の後の方で、ご挨拶や祝辞の間

毎号綺麗なカラー写真と充実した内容で楽しませてくれますので、市報の発行を毎月待っております。特に①地域の話題ニュース東西南北、②フレッシュ輝りレー、③思えば遠くへ来たもんだ、この3つのコーナーを見て、読み、感動しています。私は大森町出身ですが、出身地の話題には目をとめます。これからも頑張ってください。
(伊藤清勝さん・横浜市)

9月に入ってもまだ毎日暑い日が続く、9カ月の娘もバテぎみです…。洗面器に少量の水を入れて、水かまし、が今のところ大のお気に入り。この暑さはいままで続くんでしょうね…。
(みーちゃんさん・30歳・横手)

記録的な猛暑だった今夏。暑さに触れたおたよりがほかにも数多く届きました。皆さんもご愛ください。
近くのスーパーの地産地消コーナーでは、りんご、ぶどう、桃、なし、と秋の果実が出ています。つい手をのぼしてしまいます。野菜も珍しい品種が売られていたり、いつ行ってもあきません。これも農家のみなさんのおかげですね。
(ネコママさん・49歳・横手)

おたよりお待ちしています

読者の声「たより」は、読者の皆さんのページです。市への意見や市報の感想などを、はがきや封書、ファクスで左記のあて先までお送りください。おたよりには、必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。(市報に掲載する場合にペンネームがイニシャルを希望する方は、氏名の後に記入してください)

なお、おたよりをくださった方の中から、抽選で『読者プレゼント』の商品を差し上げます。応募方法は23ページをご覧ください。
「たより」のあて先
〒013-8601
横手市条里二丁目1番64号
横手市役所市長公室 広報広聴担当 まで ☎33-6061

「たより」と明記してください
※ご記入いただいた個人情報は、記載内容の確認および商品の発送の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

暮らしのカレンダー

10/1 ▶ 20

10/ 1 金	☑ 十文字町幸福会館
2 土	横手市 市制施行5周年記念式典▶13:30~、横手市民会館 矢口高雄画業生活40周年特別企画展 ▶~11月28日、詳しくは10ページ よこてお城山クラフトフェア▶~3日、横手公園
3 日	増田『蔵の日』▶9:00~16:00、中七日町通り いわて・あきた県境国取り合戦▶10:00~、奥郷温泉 市立横手病院(小山医師) ☎32-5001 平鹿総合病院(岡田医師) ☎32-5124
4 月	☑ 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館) ▶10:00~12:00、社協・平鹿福祉センター ☎24-3283
5 火	☑ 社協・山内福祉センター(ゆうらく館)
6 水	☑ 社協・横手福祉センター(四日町)▶10:00~12:00/ 13:00~15:00、社協・横手福祉センター ☎33-8668 ☑ 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館)
7 木	☑ 社協・横手福祉センター(四日町)
8 金	横手地域局 1階総合案内▶13:00~15:00 ☑ 社協・大雄福祉センター
9 土	まんが美術館15周年記念事業▶詳しくは10ページ 『調』~成田徹Saxophoneコンサート&悠久の調べ 雅楽演奏会~ ▶12:00~15:30、さかえ館 横手『四季の市』▶9:30~14:00、横手地域局市民広場
10 日	りんごまつり  道の駅さんない『美りの秋2010収穫祭』▶10:30~15:00 市立横手病院(渡辺医師) ☎32-5001 平鹿総合病院(無江医師) ☎32-5124 胃腸科内科高橋クリニック(横手) ☎36-2711
11 月	休日の日
12 火	☑ 大森コミュニティセンター
13 水	☑ 雄物川コミュニティセンター
14 木	☑ 社協・横手福祉センター(四日町) ☑ 増田地区多目的研修センター ☑ 大森コミュニティセンター ▶10:00~12:00、社協・大森福祉センター ☎26-3274 ☑ 十文字町幸福会館
15 金	高松宮賜杯 第54回全日本軟式野球大会2部 期 間/10月15日(金)~18日(月)※15日は開会式 場 所/グリーンスタジアムよこて、平鹿野球場、 大森野球場、スタジアム大雄、十文字野球場 問合せ/実行委員会 ☎36-1796
16 土	道の駅さんない『新そばまつり』▶~18日、10:30~15:00 増田地域センターまつり▶10:00、増田ふれあいプラザ
17 日	市立横手病院(渡辺医師) ☎32-5001 平鹿総合病院(無江医師) ☎32-5124
18 月	☑ 増田地区多目的研修センター ▶10:00~12:00、社協・増田福祉センター ☎45-4848 ☑ 雄物川保健センター▶10:00~15:00
19 火	☑ 大森コミュニティセンター▶9:30~12:00 ☑ 社協・山内福祉センター(ゆうらく館)
20 水	☑ 市役所南庁舎▶13:00~15:00、市総務課 ☎35-2161 ☑ 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館)

【無料相談】 ☑ … 行政 ☑ … 税務(10:00~12:00/13:00~15:00)
☑ … 法律(要予約) ☑ … 心配ごと(9:30~12:00)
【救急医療】 ☑ … 休日救急当番医(9:00~12:00)
☑ … 日曜夜間小児救急外来(受付18:00~21:00)

【社会保険年金相談】 横手地域局 1階相談窓口 ☎32-2111(内線8529)
・毎週月曜~木曜 10:00~12:00/13:00~15:00

真人公園りんごまつり

Pick up!!

■10月10日(日)

りんごにちなんだイベントが盛りだくさん。りんごをはじめ、特産品の展示即売会も行います。

◆場 所/真人公園

※雨天時は真人山荘

◆日 程/10:30 第45回ミスりんごコンテスト
※出場者は15人になりしだい締め切ります

11:30 りんご皮むき競争

13:00 りんごまつりウルトラクイズ

13:30 第22回リンゴの唄コンクール

15:00 お楽しみ大抽選会

◆問合せ/増田町観光協会 ☎45-5311



北海道・東北

B-1グランプリ in 横手

Pick up!!

■10月23日(土)・24日(日)



現地に行かなければめったに食べることができない自慢の味が一堂に会します。ゲスト団体として本家B-1グランプリの歴代王者も揃い踏み。みんなで北海道・東北のB級ご当地グルメを食べつくそう!全国のローソンで前売券を発売中です。※当日券もあります

◆時 間/10:00~16:00

※閉会式は24日の17:00からです

◆場 所/光明寺公園・富士見大通り、横手駅前にぎわい広場

◆問合せ/北海道・東北B-1グランプリin横手実行委員会 ☎33-7111

十文字 秋の収穫祭

食と農をテーマにした、おいしく、楽しいイベントが盛りだくさんです。

日 時/10月9日(土)~10日(日)、9:00~16:00

場 所/道の駅十文字

内 容/米粉を使った料理の試食(9日)、新品種米の試食(10日)、手湯、麺まき大会、市民参加の演劇、屋台村ほか

問合せ/道の駅十文字 ☎23-9320

十文字地域局産業建設課 ☎42-5119



無料映写会 ~ 南部シルバーエリア(大森町)

◆上映時間/午後1時~ ◆問合せ/ ☎26-3880

3日(日)「名探偵コナン 戦慄の楽譜(フルスコア)」【117分】
10日(日)「ホートン/ふしぎな世界のダレダーレ」【87分】
17日(日)「森のリトル・ギャング」【83分】